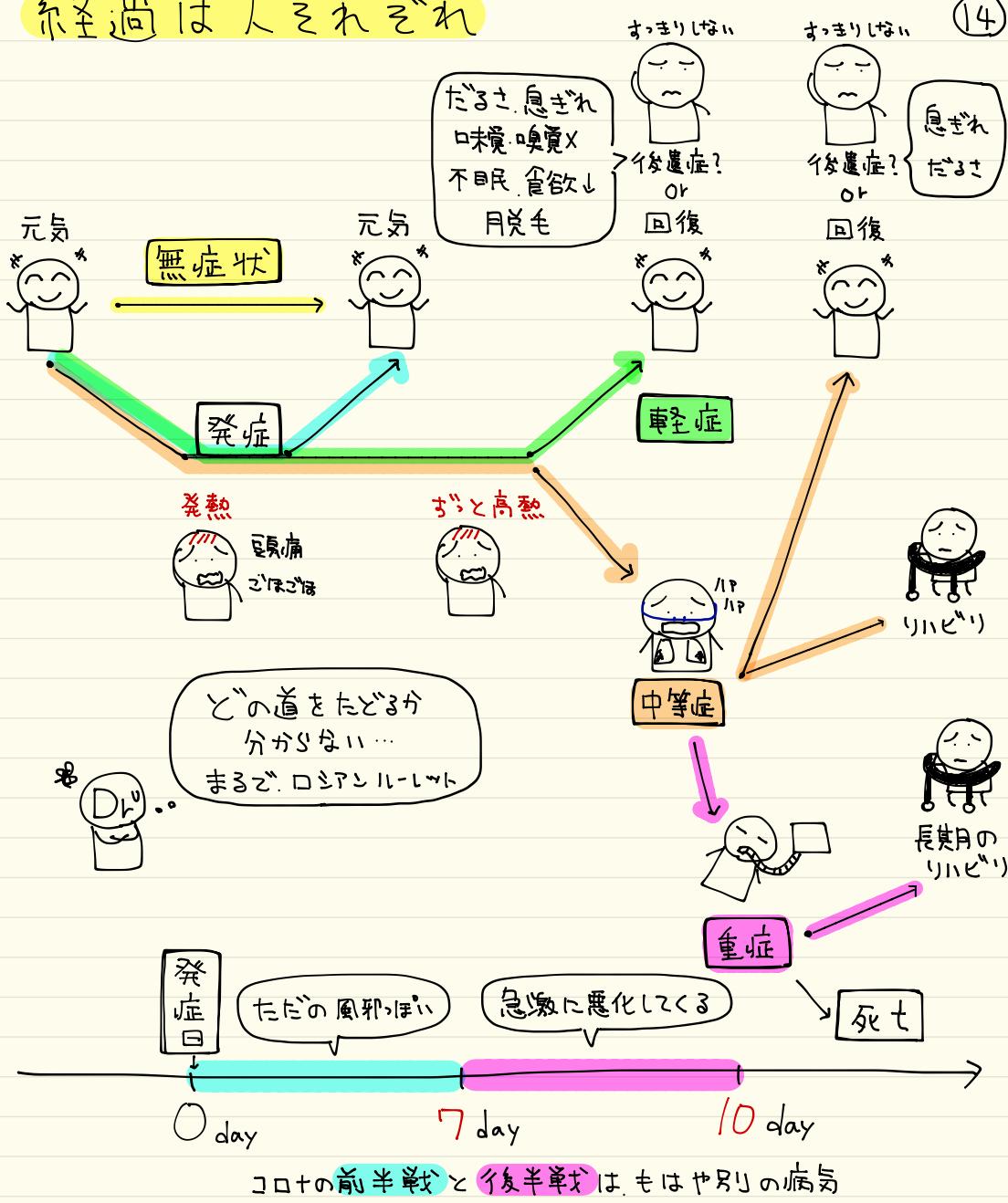


経過は人それぞれ

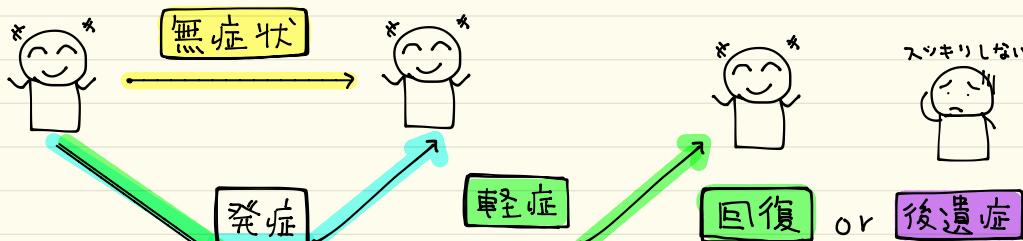
14



みんなかからない方がいい

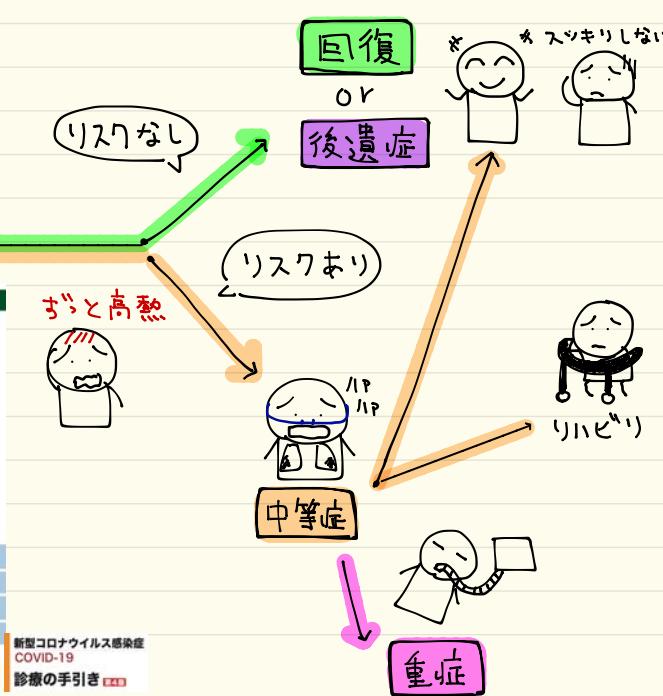
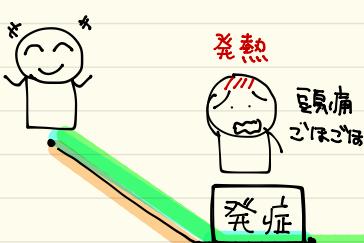


命の危険は少ないが、
社会的・精神的ダメージがある
後遺症で悩まされる人もいる



命の危険が出てくる

特に口喫煙している肥満の男性は、悪化しやすい



高齢者が感染したら本当にまずい



65歳以上の高齢者

命を落とす可能性が非常に高い

命が助かれたとしても、体へのダメージが大きい

入院に伴い筋力低下 → 歩けなくなる

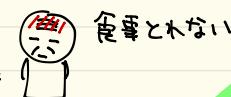
// 認知機能低下 → 認知症が進む

感染に伴い呼吸機能低下 → 在宅酸素

// 食欲低下 → 衰弱 etc



元気がない



食事とれない

発症

回復

or
後遺症



なまきりになた



高齢者の症状は分かりにくい
発症日があやふやなことも多く、
いきなり重症な状態になることがある



リハビリ



中等症



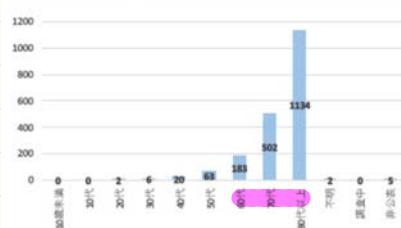
わい
くたは
つけたくない

家族で話し合いを

重症



図1-5 年齢階級別死亡数（2020年11月25日時点死亡が確認された者の数）



致死率 (%)

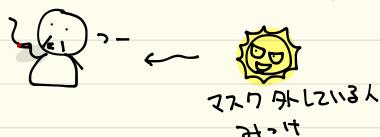
	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	年齢階級計
計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	1.7	5.7	14.0	1.4
男	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	2.4	7.7	19.3	1.6
女	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.8	3.4	10.8	1.3

*年齢階級別にみた死亡者数の割合

重症者の治療の一例

リスク高い人々

65才以上、男性、肥満
糖尿病、脂質異常症、慢性腎疾患
心血管疾患、COPD(喫煙者)



治療例



禁煙



高血圧、コレステロール
糖尿病

セキの人の多くは

せんとのも



運動力

せせる筋肉UP
肺活量UP

せき 呉くない



けろといふ

食事もいかり食べらわる

?? 苦しくはいけど酸素化悪い
高熱続く



動くと酸素化悪くなる

さすがにだるさう
あひいることが多い



マスク型

酸素化悪い

人工呼吸器管理



酸素必要ない人

- | | |
|------------------|-----------------|
| 対
症
療
法 | ・発熱 → アセトアミノフェン |
| | ・痛み → " |
| | ・せき → せき止め |

酸素開始

鼻カフ

のみ薬 + 点滴・注射

マスク型

ステロイド

(デキサメタゾン 6mg) 1日1回5~10日

1日1回10日間

必須唐突定め ヘパリン皮下注

加わる人もいます 1日2回

挿管

or

ECMO

ヘパリン持続

24hr点滴

人工呼吸器管理

ステロイドバルス

トリソグマブ



管抜け



足腰弱い

リハビリ